

青森市で「雪崩災害防止セミナー」を開催しました

雪氷チーム 道南支所

平成20年11月25日、青森市文化会館で「雪崩災害防止セミナー」（共催：青森県、後援：国土交通省青森河川国道事務所）を開催しました（写真－1）。

このセミナーは、雪崩対策に携わる技術者を対象として、最近の雪崩災害の特徴と対策、最新の研究状況等について理解を深めてもらうことを目的として開催したもので、寒地土木研究所の雪氷チームと道南支所、及びつくば中央研究所の雪崩・地すべり研究センターが共同で企画・主催したものです。表－1に本セミナーの概要を示します。

基調講演として、岩手大学の井良沢道也准教授から「最近の雪崩及び土砂災害から学ぶこと」と題して、雪崩災害や雪に関連して発生する土砂災害などについて説明していただきました。特に東北地方における最近の雪崩災害事例が紹介され、スキー場などにおいて気象状況や周囲の地形・植生状況を注視して雪崩被害を回避するための留意点などが指摘されました。

土木研究所からの話題提供として、雪氷チーム松澤上席研究員が、雪崩・地すべり研究センター石井所長と連名で「雪崩災害の実態と雪崩の基礎知識」と題して、昨冬期の雪崩発生状況や過去の大規模雪崩災害の実態の調査結果のほか、土木研究所が行っている雪崩観測について映像を交えて紹介しました。また、雪崩の分類や発生機構、雪崩予測に役立つ気象情報の活用方法や使用上の留意点などを説明しました。



写真－1 雪崩災害防止セミナーの開催状況

続いて雪崩・地すべり研究センター伊藤研究員が、「豪雪時における雪崩災害防止のための方策と最近の研究成果」と題し、20年ぶりの豪雪となった「平成18年豪雪」で多発した雪崩災害に関する様々な問題点を踏まえて、雪崩災害防止のための方法を説明しました。また現在、雪崩・地すべり研究センターで作成している「雪崩危険箇所点検・管理要領(案)」と「雪崩応急対策事例集」について内容紹介を行いました。

最後に雪氷チーム松下研究員が、「道路雪崩対策と最近の研究成果」と題して、道路における雪崩危険箇所の把握と雪崩対策の基本的な考え方について解説し、近年北海道で問題となっている雪崩予防柵を積雪がすり抜けて道路に達する現象について発生条件や対策方法など最近の研究成果を紹介しました。

今回のセミナーには、国や青森県などの行政機関や研究機関、コンサルタントなどの民間企業から約130名のご参加をいただきました。今後も、雪氷チームでは、国や自治体、民間企業の方々などを対象として、技術の普及のためのセミナーや講習会を積極的に開催していきたいと考えています。今後のセミナーの開催予定などは、随時、道路雪氷メーリングリスト等を通じてご案内しますので、関心をお持ち方はWebサイト (<http://www2.ceri.go.jp/news/archives/000078.html>) に示す方法により道路雪氷メーリングリストへ登録いただきますよう、お願いいたします。

（文責：雪氷チーム 松下 拓樹）

表－1 「雪崩災害防止セミナー」の概要

開催日時	平成20年11月25日(火) 13:15～15:50
開催場所	青森市文化会館 中会議室（青森市堤町1丁目4-1）
開催機関	主催：独立行政法人 土木研究所 共催：青森県 後援：国土交通省東北地方整備局 青森河川国道事務所
【基調講演】	「最近の雪崩及び土砂災害から学ぶこと」 岩手大学 井良沢道也准教授
【話題提供】	「雪崩災害の実態と雪崩の基礎知識」 （独）土木研究所 雪崩・地すべり研究センター 所長 石井靖雄 （独）土木研究所 寒地土木研究所 雪氷チーム 上席研究員 松澤 勝 「豪雪時における雪崩災害防止のための方策と最近の研究成果」 （独）土木研究所 雪崩・地すべり研究センター 研究員 伊藤陽一 「道路雪崩対策と最近の研究成果」 （独）土木研究所 寒地土木研究所 雪氷チーム 研究員 松下拓樹